

対談

龍門寺住職・花園大学元学長 龍源寺住職 河野太通 & 松原哲明

# 心を潤す禅語



河野太通——このう・たいつう

昭和5年大分県生まれ。花園大学卒業後、兵庫県の祥福寺で山田無文老師に従い、祥福僧堂で修行。アジア地域を対象とした国際支援団体「RACK(アジアの友を支援する会)」を設立。平成6年から13年まで花園大学の学長を務める。現在は、兵庫県姫路市の龍門寺に大衆禅堂を開創し、一般の人々を対象に修行の場を提供。著書に「親子でする坐禅と呼吸法」「白隠禅師坐禅和讃を読む」「床の間の禅語」など多数。

松原哲明——まつばら・てつみょう

昭和14年東京都生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了。ブリヂストン宣伝部勤務を経て、静岡県の龍澤寺僧堂で修行。54年以来中国の三蔵法師玄奘の足跡を訪ね、中国やインドなどの国を100回以上訪問。軽井沢・日月庵坐禅堂・星雲苑禅研修所所長。著書に「禅僧たちの「あるがまま」に生きる知恵」「名僧臨終の言葉」「こころの深呼吸 すっと気持ち楽になる禅語」など多数。

中国の達磨大師以来、千五百年以上の歴史がある禅宗。過去の禅僧たちは悟りの内容を片言隻句(一言)として人々に伝えた。それが禅語である。長い歴史の中で人々の心を潤し、鼓舞してきた禅語の魅力。龍門寺住職の河野太通師と龍源寺住職の松原哲明師に語り合っていた。

## 戦地慰霊行での 出会い

松原 きょうは私どもの龍源寺(東京・三田)まで足をお運びいただき、恐縮しております。河野老師は私の大先輩で、臨済宗の修行僧を指導する師家でもいらっしゃいます。臨済禅を代表するお師家

さんとうやうやって普通にお話して  
きくことは絶対にありえないこと  
ですし、教えをいただくのを大変  
楽しみにしてきました。

老師とのお付き合いも長いです  
ね。かれこれ四十年以上ですか。  
河野 そうなりますね。この龍源  
寺と私が小僧時代を過ごした大  
分・中津の松巖寺とはお寺同士の

歴史的因縁がございまして、いつ  
かは出会わなければならないよう  
なご縁があったのです。

というのも松巖寺はもともと宇  
都宮に奥平藩があった頃、龍源寺  
の第三世が開山となって開いた寺  
でした。お殿様の移封によって寺  
の場所を転々としながら最終的に  
中津に移っていったんです。江

戸詰の中津藩の武士が亡くなって  
も、九州で葬るわけにはいかない。  
そこでお葬式は三田の龍源寺でや  
っていただいて、お墓も龍源寺に  
埋葬されました。これがそもそ  
ものご縁です。

そういうことで、私が九州にい  
た時、松巖寺の法要に哲明さんのお  
父様の泰道先生を導師としてお